

概況

1 総社市の概要

総社市は、岡山県南西部に位置し、東部は岡山市、南部は倉敷市の2大都市に隣接しています。地域の中央を北から南に岡山県三大河川のひとつ高梁川が貫流しています。年平均気温は16.5℃前後、雨量は年間1000mm前後で、瀬戸内海特有の温暖、少雨の恵まれた気候です。

本市は、かつての古代吉備の国の中心として栄えた地域であり、縄文以前から人々が生活していた形跡が見られます。古墳時代には吉備の中心地として栄えたことをうかがわせる数多くの古墳が残されています。

飛鳥・奈良時代には、備中の国府も置かれ、国分寺、国分尼寺も配置され、備中の国の政治・経済・文化の中心地として栄えました。平安時代には備中国内の神々を合祀した総社宮が建てられました。総社市の名称はこれに由来しています。

鎌倉時代以降は、地方政治の町から山陽道や高梁川の水運を生かした、門前町、宿場町的性格に様変わりするとともに、豊かな農村地域としても発展しました。江戸時代には、岡山藩や足守藩など複数の藩領や幕府領など複雑な統治形態となっていました。

高度成長期の昭和40年代頃からは、県南工業地帯の発展に伴い、宅地開発が進むとともに、その後背地として内陸工業も発展しています。近年では、歴史に培われた吉備文化と、高梁川の恵みをはじめとする豊かな自然環境を背景に、人口が増加傾向にあり、住宅都市・学園都市としての発展も見せています。



市の花 れんげ



市の木 もみじ



市の鳥 タンチョウ

2 総社市消防管内図



3 総社市消防本部・署連絡先一覧

【消防本部】

所 属	住 所	電話番号	FAX	MAIL
消防総務課	〒719-1155 総社市小寺377番地	0866-92-8342	0866-92-9019	fd-soumu @city.soja.okayama.jp
予防課		0866-92-8343		fd-yobou @city.soja.okayama.jp
警防課		0866-92-8344		fd-keibou @city.soja.okayama.jp

【消防署】

所 属	住 所	電話番号	FAX	MAIL
消防署	〒719-1155 総社市小寺377番地	0866-92-8346	0866-92-9019	fd-syoubousyo @city.soja.okayama.jp
昭和出張所	〒719-1311 総社市美袋65番地1	0866-99-1247	0866-99-1204	
西出張所	〒710-1201 総社市久代2635番地1	0866-96-1196	0866-96-1106	

4 総社市消防のあゆみ

昭和29年 3月	1町6村の合併により、総社市が誕生 同時に消防団も合併し、総社市消防団、11分団 2,132人をもって編成
12月	消防ポンプ自動車A2級を購入し、消防団本部に配置
昭和30年 1月	消防団常備部を総社市総社418番地の12へ設置し、部員8人をもって編成
昭和35年 1月	消防ポンプ自動車A2級を購入し、消防団本部に配置
5月	上水道が施設され、水道消火栓が新設
昭和37年 6月	消防本部・消防署が新設され、従来の常備部員が消防職員として引継がれ、15人で発足 消防ポンプ自動車A2級を購入し、消防署に配置
10月	消防専用超短波無線局を開設
昭和41年 7月	火災保険号消防ポンプ自動車A2級の寄贈を受け、消防署に配置
11月	総社ライオンズクラブから赤バイ1台の寄贈を受け、消防署へ配置
昭和43年 3月	消防本部・消防署が総社市総社795番地へ移転
12月	救急自動車の寄贈を受け、20日から救急業務を開始
昭和44年 1月	消防署に査察車1台を配置
6月	吉備郡高松町、昭和町と救急業務に関する協定を締結し、7月1日から運用開始
9月	御津郡一宮町と救急業務に関する協定を締結し、10月1日から運用開始
昭和45年 5月	吉備郡高松町、足守町、真備町、昭和町、都窪郡清音村、山手村と消防相互応援に関する協定を締結し、20日から業務開始
12月	吉備郡高松町、御津郡一宮町が岡山市に編入合併されるに伴い、岡山市と消防相互応援に関する協定、救急業務に関する協定を締結し、46年1月8日から業務開始 消防署へ指揮車を配置
昭和46年 4月	職員定数を33人に改正
昭和47年 1月	消防署に水槽付消防ポンプ自動車を配置
2月	新消防庁舎の起工式を15日に挙行
4月	職員定数を40人に改正 吉備郡昭和町が編入
6月	高梁市と消防相互応援に関する協定、救急業務に関する協定を締結
10月	新消防庁舎が落成(総社市中央一丁目1番1号)
12月	消防用無線電話の周波数を152.81MCから151.23MHzに変更
昭和48年 3月	消防ポンプ自動車A2級を消防署へ配置 日本自動車工業会から救急自動車2B型の寄贈を受け、消防署へ配置
4月	職員定数を62人に改正 吉備郡真備町、都窪郡清音村及び山手村と消防事務受託について調印
8月	消防署へ指揮車を配置
12月	救急指令装置B型の運用開始
昭和49年 2月	消防署へスノーケル(16m)車、消防ポンプ自動車A2級を配置

3月	総社市消防署昭和出張所を開所
4月	職員定数を75人に改正
	総社市消防署真備出張所を開所
昭和50年 3月	日本損害保険協会から救急自動車2B型の寄贈を受け、真備出張所へ配置
昭和51年10月	消防署の機構改革を実施し、2係から5係(業務係、消防係、教養訓練係、救急係、通信指令係)とし、真備、昭和両出張所を班から係へ変更
11月	総社ライオンズクラブから発足15周年記念事業として火災予防広報車の寄贈を受け、消防本部へ配置
昭和52年12月	消防ポンプ自動車A2級を購入し、消防署へ配置
昭和53年 2月	日本損害保険協会から救急自動車2B型の寄贈を受け、消防署へ配置
10月	消防本部の機構を改革し、消防本部に課制を導入 2課5係(庶務課一庶務係・消防団係、警防課一予防係・警防係・通信指令係)
昭和55年 7月	総社地区防火協会から火災予防広報車の寄贈を受け、消防本部へ配置
11月	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車A1級の寄贈を受け、消防署へ配置
昭和56年 3月	岡山県共済農業協同組合連合会から救急自動車2B型の寄贈を受け、消防署へ配置
9月	日本消防協会から軽可搬動力ポンプD1級の寄贈を受け、浜北防火委員会(婦人消防隊)へ配置
昭和57年 3月	消防法施行令第44条第3項第2号に基づき救急隊員の資格取得補充講習を実施
6月	消防本部・署発足20周年記念事業として「消防本部・署発足20周年を迎えて」を刊行
昭和59年 5月	第31回岡山県消防操法訓練大会を総社市(高梁川河川敷グラウンド)で開催
6月	総社地区防火協会から火災予防広報車の寄贈を受け、消防本部へ配置
11月	第22回全国消防長会救急委員会が総社市で開催
昭和60年 2月	日本損害保険協会から救急自動車2B型1台の寄贈を受け、消防署へ配置
昭和61年 8月	日本消防協会から携帯無線機1W10台及び携帯用拡声器2台の寄贈を受け、消防署へ配置
昭和62年 1月	消防署へ消防ポンプ自動車(CD-I型動力昇降装置付)を配置
昭和63年 1月	消防署へ消防ポンプ自動車(CD-I型動力昇降装置付)を配置
3月	消防無線基地局を更新 消防庁舎2階を改修し通信指令室を増築、指令装置をⅡ型(HAD-105型)に更新 消防団が日本消防協会の竿頭綬を受章
11月	査察広報車を購入し、消防署へ配置
12月	岡山県共済農業協同組合連合会から救急自動車2B型の寄贈を受け、消防署へ配置 消防署へ消防ポンプ自動車(水槽付Ⅱ型)を配置 消防署昭和出張所へ消防ポンプ自動車(CD-I型、動力昇降装置、電動ホースカー付)を配置
平成 元年 4月	消防署昭和出張所へ救急車2B型を配置し、救急業務を開始
6月	消防用無線電話の周波数を151.23MHzから151.75MHzに変更 県内共通波153.53MHzを基地局に増設
7月	総社地区防火協会から火災予防広報車の寄贈を受け、消防本部へ配置

9月	職員定数を80人に改正
12月	消防署へ消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ型、動力昇降装置、電動ホースカー付)を配置
平成2年3月	岡山県下消防相互応援協定を締結
4月	消防用無線中継局を設置し、周波数154.19MHz全国共通波150.73MHzを増設
平成2年10月	第34回全国消防長会救急委員会を総社市で開催
平成3年1月	救助工作車(Ⅱ型)を消防署へ配置
2月	日本自動車工業会から救急自動車2B型の寄贈を受け、消防署へ配置
平成4年2月	日本損害保険協会から救急自動車2B型の寄贈を受け、消防署へ配置
9月	職員定数を94人に改正
11月	消防庁舎移転新築工事安全祈願祭を16日に実施
平成5年7月	日本防火協会から防火広報車の寄贈を受け、消防本部に配置
10月	第9回全国婦人消防操法訓練大会に昭和婦人消防隊が出場
12月	NSC化学工業㈱から指揮車の寄贈を受け、消防署に配置
平成6年2月	消防庁舎移転新築工事が竣工し21日から新庁舎で業務を開始 消防庁舎移転新築工事竣工式を23日に挙行 医療法人行堂会長野病院から蘇生訓練用シミュレーター2体の寄贈を受け防災展示ホールに配置 婦人防火指導員制度を設け2人採用し、予防係へ配属
7月	職員定数を104人に改正 消防本部の機構を改革し、2課5係を3課6係(庶務課－庶務係・消防団係、予防課－予防係・危険物係、警防課－警防係・通信指令係)に変更
8月	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車A－1級の寄贈を受け、化学消防ポンプ自動車に艀装し、消防署へ配置 軽自動車(貨物)を消防署へ配置
平成7年2月	消防団が日本消防協会の表彰旗を受章 消防団各分団本部に指導部長を配置 総社市初の救急救命士が誕生
12月	はしご付消防自動車(30m級)を消防署へ配置 高規格救急自動車1台を消防署へ配置
平成8年3月	消防署へ消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ型、動力昇降装置、電動ホースカー付)を配置 消防本部・消防団が消防庁長官表彰の竿頭綬を受章
8月	総社市消防署西出張所が開所
平成9年3月	岡山自動車道が開通し、岡山総社IC～賀陽IC間の消防業務を開始 消防団の再編成を行い泉地区に消防団(総社分団第11部)を配置
10月	第1回消火技術訓練大会を開催
12月	岡山県共済農業協同組合連合会から救急自動車(2B型)の寄贈を受け消防署へ配置
平成10年1月	船外機付き救助用ゴムボート1艘を消防署へ配置
2月	資機材搬送車を消防署へ配置

平成11年 3月	消防署へ消防ポンプ自動車(Ⅱ型、動力昇降装置、電動ホースカー付)を配置 消防用無線基地局に全国共通波(148.75MHz、154.15MHz)を増設
6月	総社地区防火協会発足25周年記念事業として乗用車の寄贈を受け、消防本部へ配置
平成12年 3月	(財)日本消防協会から救急自動車(2B型)の寄贈を受け、消防署に配置 消防緊急通信指令システムを更新し、4月1日から運用を開始
4月	消防本部の機構を改革し、3課6係を3課4係(庶務課－庶務係、予防課－予防係、警防課－警防係・通信指令係)に変更 災害情報及び休日当番医案内サービスを開始
5月	略帽を廃止し、作業帽(アポロ帽)へ変更
10月	吉備信用金庫から救急自動車(2B型)の寄贈を受け、消防署に配置
平成13年 5月	総社市消防本部ホームページを開設
11月	総社市消防本部シンボルマークを制定 総社市庁内LANへ接続し、業務を開始(一部)
平成14年 3月	小型動力ポンプ付水槽車(Ⅱ型)及び消防ポンプ自動車(Ⅱ型、動力昇降装置、電動ホースカー付)を消防署に配置
12月	新基準の活動服を導入 職員定数を124人に改正
平成15年3月	消防ポンプ自動車(Ⅱ型、動力昇降装置、電動ホースカー付)を更新し消防署に配置
11月	救急自動車(2B型)の更新に伴い高規格救急車を消防署に配置 消防団員に活動服とアポロキャップを採用
平成16年 3月	消防団員の安全を考慮し編上げ靴を採用
6月	総社地区防火協会発足30周年記念事業として査察車2台の寄贈を受け消防本部へ配置
8月	神戸市で開催された第33回全国消防救助技術大会にはしご登はんの部で出場 (総社市消防本部として全国大会初出場)
12月	消防隊員の安全性の向上を図るためISO対応の防火衣を整備
平成17年 2月	救急自動車(高規格)を更新し消防署へ配置
3月22日	隣接の都窪郡清音村・山手村と合併し新総社市が誕生
4月	合併に伴い消防団員の定数を改正し1,020人に改正
8月1日	市町村合併により委託されていた吉備郡真備町が倉敷市真備町となる
平成18年3月	市町村合併により倉敷市真備町が管轄から外れる (変更後の管轄 倉敷市消防局) 昭和・西出張所へ4名ずつ増員し、16人体制開始 女性消防団員(kibikibiレディース)19名を採用
平成19年3月	水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新し消防署へ配置
8月	東京都で開催された第36回全国消防救助技術大会に、はしご登はんの部及びほふく救出の部で出場
平成20年2月	救助工作車(Ⅱ型)を更新し消防署へ配置
8月	北九州市で開催された第37回全国消防救助技術大会に、はしご登はんの部で出場

平成21年4月	女性団員を増員して29人とし、4班に編成
6月	総社市防火協会発足35周年記念事業として車両1台の寄贈を受け、消防本部へ配置
平成22年3月	消防本部・消防団が消防庁長官表彰の表彰旗を受章
5月	救急自動車(高規格)を更新し消防署へ配置
平成23年3月	3月11日に発生した東日本大震災へ緊急消防援助隊を派遣し、多賀城消防署の指揮下に入り、消火活動等を実施
	消防団本部に本部長制度(分団長格、方面隊長兼務)を導入
平成25年3月	消防緊急通信指令施設全面改修
	広島市で開催された第42回全国消防救助技術大会に、ほふく救出の部で出場
平成26年3月	救急自動車(2B型)を更新し消防署昭和出張所へ配置
	昭和出張所移転新築工事の竣工式を30日に挙行
4月	昭和出張所が1日から新庁舎で業務を開始
6月	総社市防火協会発足40周年記念事業として車両1台(総務1)の寄贈を受け、消防本部へ配置
平成27年4月	初の女性消防吏員を採用
8月	神戸市で開催された第44回全国消防救助技術大会に、ほふく救出の部で出場
12月	日本消防協会から防災活動車(デリカ)1台の交付を受け、総社市消防団に配置
平成28年3月	指揮1号車を更新し、ストレッチャータイプの指揮台を採用
	高規格救急自動車を更新し、消防署西出張所に配置
4月	平成28年熊本地震に伴う緊急消防援助隊として延べ10名を派遣(4/16から4/21)
9月	本庁舎1階展示ホールを撤去し、その場所へ女性職員用仮眠室等を整備
平成29年8月	仙台市で開催された第46回全国消防救助技術大会に、ロープブリッジ渡過の部で出場
10月	第1回総社ファイヤー・セービング大会を開催
平成30年1月	元総社市消防団長 高見氏、前総社市消防団長 大月氏の胸像が完成
2月	消防ポンプ自動車、救急自動車を緊急消防援助隊整備費等補助金を活用して更新
	昭和出張所・西出張所に女性職員用仮眠室等を整備
4月	119番通報等に係る多言語通訳業務開始
6月	東京都で行われた全国消防職員意見発表会に出場 (総社市消防本部として初出場)
7月	平成30年7月豪雨発生 総社市初の大雨特別警報発表(7月6日から7月7日) 消防ポンプ自動車1台、救助ボート1艇、小型ポンプ2機浸水
12月	年間の救急最多出場件数更新3,206件
平成31年3月	消防隊員用個人装備に係るガイドライン2017に準拠した新防火装備着用開始
	化学消防ポンプ自動車を更新し、消防署に配置
	浸水した消防ポンプ自動車1台、水難救助資機材、小型ポンプ2機を更新整備
令和元年6月	無人航空機(ドローン)2機を新たに整備
	ラフティングボート2艇を新たに整備

8月	岡山市で開催された第48回全国消防救助技術大会に、ロープブリッジ渡過の部で出場
	総社市防火協会からミニ消防車「しょうたくん」の寄贈を受ける
9月	救助用ボート1艇を整備
令和2年3月	消防緊急通信指令施設の中間更新事業を実施
4月	新型コロナウイルス特措法に基づく緊急事態宣言が全国で発令(4/16～5/14)
6月	旧ミニ消防車「しょうたくん」を神在幼稚園幼年消防クラブへ寄贈
7月	元総社市消防団長 高見氏から消防訓「一期一会」を記した石碑等の寄贈を受ける
11月	はしご付き消防自動車を更新整備
令和3年1月	Net119緊急通報システム運用開始
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、消防出初式を中止
3月	消防本部・消防団が消防庁長官定例表彰の竿頭綬を受章
令和4年3月	高規格救急自動車2台を更新し、消防署へ配置
4月	消防ポンプ自動車を更新し、西出張所へ配置
5月	総社市消防本部発足60周年記念式典を開催
	前総社市消防団長 大月氏から「迅」を記した石碑等の寄贈を受ける
8月	東京都で開催された第50回全国消防救助技術大会に、ほふく救出の部で出場
令和5年1月	消防団員の定数を950人に改正
	消防ポンプ自動車を更新し、昭和出張所へ配置
3月	人員搬送車(バス)を更新整備
8月	火災予防査察車を更新整備
令和6年2月	高規格救急自動車1台を更新し、消防署へ配置
6月	総社市防火協会発足50周年記念事業として電気自動車1台の寄贈を受け、消防本部へ配置
12月	年間の救急最多出場件数更新3,511件
令和7年3月	救助工作車を更新整備
5月	特別救助隊発足
12月	年間の救急最多出場件数更新3,547件
令和8年3月	高機能消防指令センター・消防救急デジタル無線システム整備

5 総社市消防の概要 《一目統計》

R8.4.1

◎ 管 轄	総社市
◎ 人 口	69, 520人
◎ 世 帯	30, 552世帯
◎ 面 積	212. 01 km ²
◎ 消防予算	1, 303, 935千円 (令和8年度当初)
◎ 機 構	1本部(3課), 1署, 2出張所
◎ 職 員 数	消防吏員122人 (内女性4人, 市長部局出向2人, 岡山県防災航空センター派遣1人含む)
◎ 団 員 数	846人(内女性37人)
◎ 消防水利	消火栓 1, 253 基 防火水槽 350 基
◎ 火災件数	42件 (令和7年中)
◎ 救急出動件数	3, 547件 (令和7年中)
◎ 救助出動件数	48件 (令和7年中)

6 管轄区域内地区別世帯数・人口

R8.4.1

地区 \ 区分	世帯数	人 口	備 考
合 計	30,552	69,520	
住 居 表 示 地 区	5,636	11,438	
総 社	7,834	17,705	M29. 2. 26町制 S29. 3. 31 市制
常 盤	3,824	8,546	S29. 3. 31 総社町と合併
三 須	1,280	3,133	S29. 3. 1 //
服 部	1,026	2,752	S26. 4. 1 //
阿 曾	1,077	2,515	S29. 3. 31 //
池 田	496	1,030	// //
秦	739	1,753	S29. 3. 1 //
神 在	827	1,874	S26. 4. 1 //
久 代	1,295	2,962	S29. 3. 31 //
山 田	268	635	// //
新 本	557	1,324	// //
日 美	579	1,243	S27. 4. 1 合併により町制 S47. 4. 22 総社市と合併
水 内	363	687	
下 倉	198	393	
富 山	90	166	
山 手	2,039	5,515	H17. 3. 22総社市と合併
清 音	2,424	5,849	// //